

プレスリリース【新刊刊行】  
報道関係者各位

2011年3月10日発信

## 『よみがえれ！清流球磨川』刊行

漁業権と漁民の尊厳を守るための、50年にわたる熊本漁民の闘いの記録

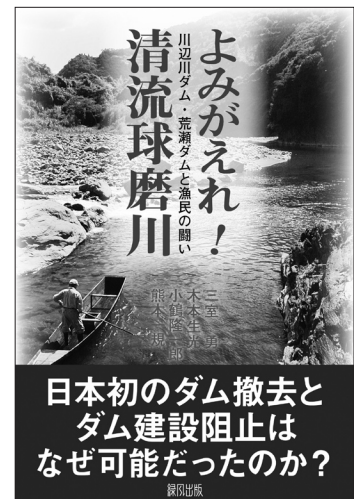
環境／社会問題を専門とする出版社・(株)緑風出版(りよくふう・しゅっぱん、代表＝高須次郎)では、3月8日、球磨川水系での多目的ダムに対する半世紀にわたる闘いを描いたルポルタージュ『よみがえれ！清流球磨川——川辺川ダム・荒瀬ダムと漁民の闘い』を刊行しました。

2010年3月31日、水利権の失効により藤本発電所は発電を停止し、一九五五年の球磨川総合開発計画により球磨川で最初に作られた発電専用のダム・荒瀬ダムのゲートが開放された。

このダムによる振動・騒音・悪臭などに50年以上も苦しめられてきた住民達は、漁獲量が約20分の1に減った鮎漁の復活と、生活を守るため国を相手にたちあがった。そして日本初のダム撤去が勝ち取られた。

また、同時に国土交通省が計画していた利水・治水・発電を目的とした巨大な多目的ダム・川辺川ダムの計画も、ダム被害の経験をもとに、漁業法や河川法の学習、水利権を梃子にした闘いで中止に追い込んだ。

本書は、日本で初めてのダム撤去を勝ち取るなどの大きな成果を残した、球磨川漁民の50年にわたる闘いの記録である。ダム・埋立・原発等の問題で苦闘している全国各地の漁民・住民たちのために書き下ろされた、たたかひの勝利と地域の持続的発展のための知略のエッセンス。



### [書誌データ]

『よみがえれ！清流球磨川——川辺川ダム・荒瀬ダムと漁民の闘い』

ISBN978-4-8461-1102-1 C0036 四六判上製 232頁 本体価格 2100円

### [共著者]

三室勇 (みむろ いさむ) 1916年生。元・球磨川漁協組合長、釣具店経営

木本生光 (きもと せいみつ) 1935年生。球磨川漁協副組合長、さかもとまちダムサイト代表

小鶴隆一郎 (こづる りゅういちろう) 1950年生。球磨川漁協副組合長

熊本一規 (くまもと かずき) 1949年生。明治学院大学教授(環境経済・環境政策・環境法規)

(株)緑風出版(りよくふう・しゅっぱん)は1982年の創立の専門書出版社(本社・東京都文京区本郷)。エコロジー・環境問題から内外政治・社会問題まで、現代と未来をみすえた書籍を刊行。2003年、優秀な出版活動に対し唯一贈られる第18回梓会出版文化賞を受賞。刊行図書に『ドキュメント日本の公害』、プロブレムQ&Aシリーズ等がある。

本プレスリリースに関するお問い合わせは、(株)緑風出版・営業部まで

TEL 03-3812-9420 E-mail: info@ryokufu.com